

《提案》市民対話集会のイメージ

第5回古賀市自治基本条例策定委員会
平成27年 5月22日(金)

1. 市民対話の考え方

①目的

- 1) 多様な意見をもとに条例案を豊かにする
- 2) 多くの市民の自治に対する気運を高める
- 3) 策定委員の活動への自信とヤル気を高める

②方法

- 1) 出張型
 - ・・策定委員がまちに出ていく(市民対話集会)
- 2) 招待型
 - ・・策定委員会に他の市民等を招く
(ゲスト参加者(市民、市職員等))

2. 市民対話集会の進め方のポイント

- ①テーマ設定
～(例)「これからの地域の自治について考えよう」
など、身近に自治を考えやすいテーマに
- ②配付資料
～「はじめの一步案ver.1」
- ③話題提供・説明
～紙芝居風パワーポイントなど見せ方の工夫
(資料は共通で、説明者それぞれの語り口で)
- ④意見交換・意見収集
～貴重な意見を残すための準備と工夫

3. 市民対話集会のプログラム

○合計1時間30分程度を想定

【プログラム】

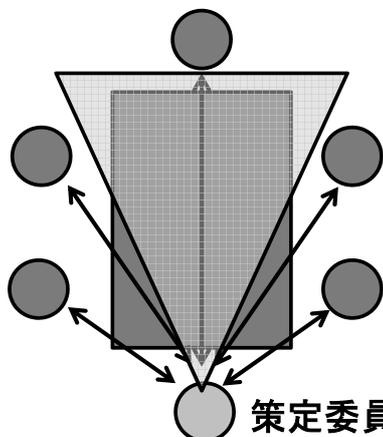
- (1)はじめに(◇開会あいさつ、趣旨説明)
- (2)話題提供(●「はじめの一步案」の説明)
- (3)対話の時間(グループに分かれて対話) ※○進行
 - 1)自己紹介
 - 2)「ご意見カード」などの記入
 - 3)意見交換
- (4)各グループの発表 ※○進行
- (5)おわりに(●まとめ、閉会あいさつ)

【役割分担の想定】

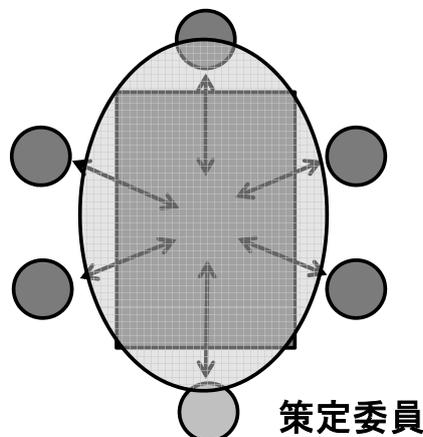
- 策定委員
- ファシリテーター
- ◇事務局

○グループでの対話のイメージ

～(例)グループに策定委員が1人入った場合



「場を仕切らなければ・・・」と、委員ががんばりすぎると、結局、委員の話す時間が長くなりがち。(策定委員と他の市民)

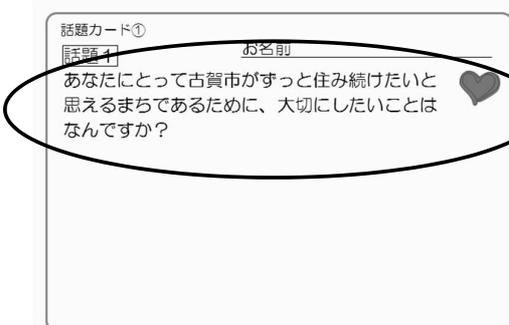


「お互いに聴き合おう・・・」と順番に発言を振ったりして、それぞれ発言できるように。(みんな同じ立場で)

○意見をしっかりと残すための準備

①ご意見カード

・意見を出しやすくする手がかり



(例: 第3回委員会の「話題カード」)

【ポイント】

聞きたいことが、うまく伝わるように(無地のポストイットとの違い)

②ポストイット

・より自由に意見を出し合いたい時は、ポストイットの方が良い場合もある。

→①または②を模造紙に貼り付けながら話し合い

○得られた意見等を条例案づくりに 活かしていくためのポイント

- ①現場で聞いた生の声・感じたことを大切にする
- ②意見を記録に残す(できるだけ“そのまま”で)
- ③みんなで意見を共有する
- ④特に大事な意見を複数の目で拾い上げる